決めたかったのですが、

市長

 でビデオメッセージをいただき。 星野さんには、5月の記念式典(写真 0年という歴史の大きな節目でした。 昨年は長岡市にとって長岡開府40

で彗星のようにデビューされまし 女優やエッセイストとして いろんな偶然とチ

なくて。でも「それも私らしいかな」 組で世界を旅したり、ニュースキャス

あけましておめでとうござい

ありがとうございました。

思いはなくて(笑)。長岡の高校から の連続テレビ小説「なっちゃんの写真 ■星野 実は「女優を目指す」という レビの世界を目指していたのですか。 市民の誇りです。子どものころからテ こ活躍され、長岡が生んだ女優として 星野さんは、昭和55年にNHKの朝

でも、とても新しい世界で、人生がパ 強は全くしたことがなかったんです。 就職するみたいな。セリフや演技の勉 ラ出演でした。まるでNHKに半年間 東京の大学に進み、 ッと広がり、これからの自分への可能 ャンスが重なって、卒業と同時に朝ド

音楽番組の司会をやったり、紀行番 も。本当は、コレ、という一つを

> 47日で回る「路上ライブの旅」にも挑 本気で音楽を目指そうと思いました。 目指すきっかけは何でしたか。 を中心に活躍しています。音楽の道を 選択だったということですね そして19歳のとき、後にメンバーとな 路上ライブを行うようになりました。 のときに父親のギターを使って自分の んです。世界が広がった感覚に包まれ、 る相方(いとこ)と初めて音楽をした くて。そこから1人で長岡駅前などで たかのり その後23歳で上京し、47都道府県を たかのりさんは、音楽ユニット ・曲弾いたんです。それが格好良 ーダーとして、 1歳上の兄が、私が18歳

戦しました。車1台に2人で乗って毎 日移動しながら。 ●星野 きつくなかったですか。

なときに、相方が自分のパー 音楽が〝苦しい〞に変わって…。そん つぶしてしまったんです。楽しかった ●たかのり 旅の後、歌い過ぎて声を 長岡のみなさんが支えて 乗り越えることができ



②米百俵の精神を世界へ伝えようと、阪 之上小学校の6年生が毎年上演している 「米百俵」の英語劇



①昨年5月にアオーレ長岡で開催した 「長岡開府400年記念式典」。約2万人

劇を上演しています(写真②)。

私は小学生の道徳の授業で米

が受け継がれています。阪之上小学校

を持てるような教育を進めていきます からも、子どもたちがふるさとに誇り るなあって、うれしくなりました。 どもたちにしっかりと受け継がれて った20作品の中に長岡の女子高生がい 人になって学ぶより、 「これからの国際協力は、物を支援す 私は今、 (国際協力機構)

かなものとして残っているんです。から薄れていくのですが、心の奥に確 感じたことって心に留まります。これ るだけではなく、米百俵の精神で何が たんですが、その出だしが「米百俵」。 す。何万という応募から最終審査に残 の作文コンテストの審査員をしていま と思います。それはいつの間にか記憶 が「長岡ってすごい」って感じてい 百俵の精神を習って、 ●市長 それはうれしい話ですね。大 いう内容でした。しみじみ、長岡の子 できるかを考えることが大切です」と 子どものころに クラスのみんな

受け継がれる、米百俵、

育てていこう√という「米百俵の精神」
・市長 長岡市民には ″みんなで人を



新しい米百俵」で 切り開く長岡の未来

長岡開府400年の節目となった昨年、市民挙げてさまざまな記念事業が行われました。平成31 年は、新たな100年を刻むスタートの年。市長が長岡出身の2人と "「新しい米百俵」で切り開く 長岡の未来"をテーマに、長岡への想いと期待を語り合いました。

星野知子さん

長岡市出身、昭和32年生まれ。昭和55年のNHK連続テレ ビ小説「なっちゃんの写真館」で主演デビュー後、映画・ ドラマに多数出演。ニュース番組のキャスターや音楽番組 の司会も務めるなど、多方面で活躍。著書も多く「今を生 きる『武士の娘』鉞子へのファンレター」などがある。

たかのりさん

長岡市在住、昭和54年生まれ。平成11年にいとこ(ぴろんさん)と音楽ユニット「ひなた」を結成、リーダーを務める。県内を中心にライブを行い、毎年6月に全国ツアーを 開催。平成28年から毎年12月にアオーレ長岡で音楽イベント「長岡音むすびフェス」を主催する。

感動や夢を伝える活動をされています。 たかのりさんは子どもたちに